

令和4年度
松阪市
保健統計報告書

〔 令和4年10月1日時点人口
令和3年人口動態 〕

松阪市健康福祉部健康づくり課

〈目 次〉

I. 調査の概要	1
II. 結果の概要	3
III. 調査の結果	4
1、人口静態（令和4年10月1日現在）	4
(1) 総人口	4
(2) 年齢別人口	5
(3) 年齢3区分別人口	6
(4) 世帯数	7
2、人口動態（令和3年1月1日～12月31日）	8
率の算出（令和3年10月1日現在）	
1) 人口動態の概況	8
2) 出生	9
(1) 出生数と出生率	9
(2) 出生率の推移	9
(3) 合計特殊出生率	10
(4) 母親の出産年齢	10
(5) 出生体重	11
3) 死亡	12
(1) 死亡数・死亡率	12
(2) 死亡率の推移	12
(3) 死因別死亡数・年齢調整死亡率	13
(4) 年齢調整死亡率の比較	14
(5) 死因別死亡数の推移	15
(6) 死因別死亡	16
(7) 悪性新生物の部位別死亡	17
(8) 不慮の事故の内訳と比較	18
(9) 「新型コロナウイルス感染症」による年齢調整死亡率の比較	18
4) 死産	19
5) 周産期死亡	19
6) 乳児死亡	20
7) 婚姻と離婚	21
【参考資料】地区別人口一覧	22

I. 調査の概要

1、調査の目的

松阪市の人口静態・動態事象を把握し、保健施策の基礎資料を得ることを目的とする。

2、調査の方法

- ① 人口静態統計は、令和4年10月1日現在の松阪市役所環境生活部戸籍住民課の住民基本台帳を用いて作成した。
- ② 人口動態統計は、市町の人口動態調査票による集計結果を三重県健康福祉部のホームページで公表されたデータを用いた。

人口動態統計は、統計法による指定統計として「戸籍法」及び「死産の届出に関する規定」により届けられた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の届出書から、「人口動態調査令」に基づき、市町村長が作成した各調査票をとりまとめたうえ分類・集計したものである。

人口動態統計は、調査票をもとに人口の動的事象を統計的に把握したものであるが、保健衛生、医療対策面はもとより、行政施策の基礎資料として広範囲に活用される基本的な統計である。

- (1) 令和3年年計は、令和3年1月1日から令和4年1月14日までに市町村に届けられたもののうち、令和3年中に事件が発生したもののみを取りまとめた。
- (2) 日本において発生した、日本人に関する事件を集計した。
- (3) 出生、死亡及び死産は、本県に住所を有するもの。
- (4) 婚姻は夫の住所が本県のもの。
- (5) 離婚は別居する前の住所が本県のもの。

ただし、離婚のうち調停、審判及び判決による離婚は、裁判確定の年月日をもって法的に成立するので、同確定日が令和3年中のものについてのみ収録した。

3、用語の解説

- 人 口 静 態：特定の時点でとらえた人口の大きさや構造をあらわしたもの
(毎年10月1日現在)
- 人 口 動 態：出生・死亡による人口変動(自然動態)と人口移動による変動(社会動態)
とによる人口数・人口構造の変化。時点ではなく、特定の期間を推定してい
て人口の大きさや構造をあらわしたもの。
- 3 区 分 別 人 口：年少人口(0~14歳)、生産年齢人口(15~64歳)、老年人口(65歳以
上)
- 高 齢 化 率：65歳以上人口が総人口に占める割合
- 自 然 増 減 数：出生数から死亡数を減じたものをいう。
- 乳 児 死 亡：生後1年未満の死亡をいう。
- 新 生 児 死 亡：生後4週(28日)未満の死亡をいう。
- 早期新生児死亡：生後1週(7日)未満の死亡をいう。
- 死 産：妊娠満12週(妊娠第4月)以後の死児の出産をいい、死児とは、出産後
において心臓搏動、随意筋の運動及び呼吸のいずれも認めないものをいう。
- 周 産 期 死 亡：妊娠満22週(154日)以後の死産に早期新生児死亡を加えたものをいう。

(比率の説明)

概要及び統計表に用いた比率¹⁾

- 出 生 率：年間出生数÷10月1日現在人口×1,000
- 死 亡 率：年間死亡数÷10月1日現在人口×1,000
- 自 然 増 減 率：自然増加数÷10月1日現在人口×1,000
- 乳 児 死 亡 率：年間乳児死亡数÷年間出生数×1,000
- 新生児死亡率：年間新生児死亡数÷年間出生数×1,000
- 周産期死亡率：年間周産期死亡数÷(年間出生数+年間の妊娠満22週以後の死産数)
×1,000
- 妊娠満22週以後の死産率：年間の妊娠満22週以後の死産数÷(年間出生数+年間の妊娠
満22週以後の死産数)×1,000
- 死 産 率：年間死産数÷年間出産数(死産数+出生数)×1,000
- 早期新生児死亡率：年間早期新生児死亡数÷年間出生数×1,000
- 婚 姻 率：年間婚姻届出件数÷10月1日現在人口×1,000
- 離 婚 率：年間離婚届出件数÷10月1日現在人口×1,000
- 合計特殊出生率：(母の年齢別出生数÷同年齢の女子人口)の15歳から49歳までの合計²⁾
- 年齢調整死亡率：{観察集団の年齢階級別死亡率×年齢階級別基準人口}の各年齢階級の
(旧訂正死亡率) 総和÷基準人口の総数³⁾×100,000

1) 比率の算出に用いた人口は、令和3年10月1日現在推計人口(総務省統計局)及び三重県月別人口調査結果(三重県戦略企画部統計課)による。

2) 都道府県別及び市町村別の値は、5歳階級で算出し、5倍したものを合計している。

3) 平成27年モデル人口による。

Ⅱ. 結果の概要

1、人口静態（令和4年10月1日現在）

- ・ 総人口は 159,423 人、世帯総数は 74,423 世帯。
- ・ 1 年間の総人口は 1,526 人減少、世帯総数は 120 世帯増加。
- ・ 年少人口（0～14 歳）は 19,090 人（11.9%）、生産年齢人口（15～64 歳）は 91,914 人（57.6%）、老年人口（65 歳以上）は 48,419 人（30.3%）。

2、人口動態（令和3年1月1日～12月31日）

① 出生数

- ・ 出生数は 996 人、前年より 63 人減少。
- ・ 出生率（人口千対）は 6.3。全国の出生率 6.6、三重県 6.4。
- ・ 合計特殊出生率は 1.35。全国 1.30 と三重県 1.43。

② 死亡数

- ・ 死亡数は 2,065 人、前年より 135 人増加。
- ・ 死亡率（人口千対）は 13.1 で前年の 12.1 を上回る。全国の死亡率 11.7、三重県 12.7。
- ・ 死因別死亡数は、第 1 位は悪性新生物 473 人で死亡総数の 22.9% を占める。第 2 位は心疾患 320 人（15.5%）、第 3 位は老衰 282 人（13.7%）。

③ 自然増減数

- ・ 自然増減数（出生数から死亡数を減じたもの）はマイナス 1,069 人。前年のマイナス 871 人より 198 人増加。平成 17 年から 17 年連続してマイナス。

④ 婚姻・離婚数

- ・ 婚姻件数は 571 組。前年より 38 組減少。
- ・ 婚姻率（人口千対）は、3.6。前年は 3.8。全国の婚姻率 4.1、三重県 3.8。
- ・ 離婚件数は 235 組。前年より 31 組減少。
- ・ 離婚率（人口千対）は、1.5 で前年より減少している。全国の離婚率 1.5、三重県 1.5。

Ⅲ. 調査の結果

1. 人口静態（令和4年10月1日現在）

（1）総人口

令和4年10月1日現在の松阪市の総人口は159,423人である。平成20年の総人口171,388人をピークに減少し、令和3年10月から令和4年9月までの1年間で1,526人減少した。

図1. 人口の推移

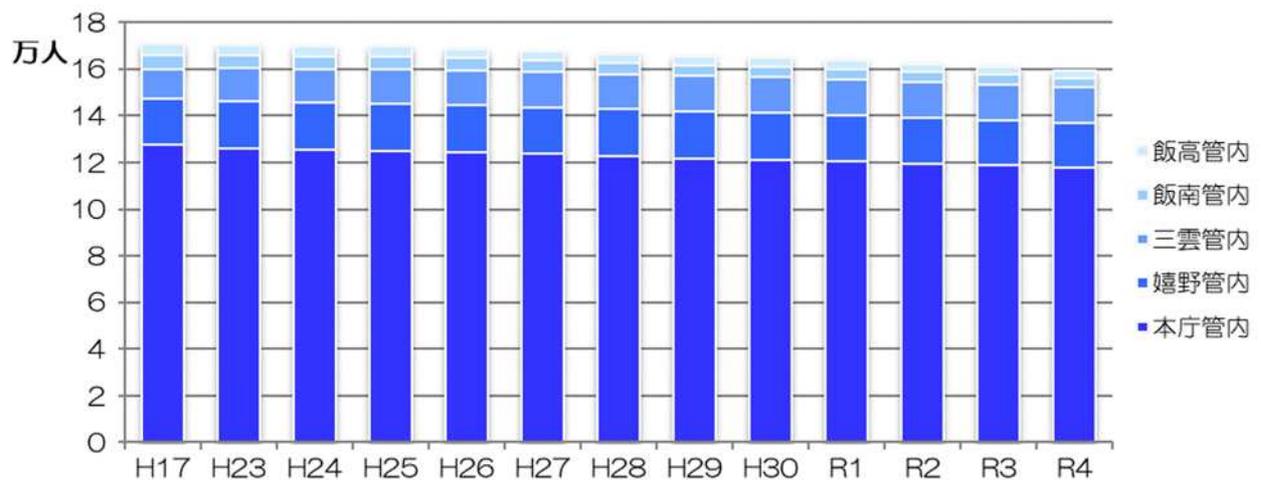


表1. 管内別人口と推移（人）

年	松阪市	管内				
		本庁	嬉野	三雲	飯南	飯高
H17	168,973	127,142	19,021	12,008	5,800	5,002
H23	170,333	126,007	19,952	14,345	5,427	4,602
H24	169,860	125,487	19,969	14,630	5,323	4,451
H25	169,560	125,119	20,020	14,864	5,228	4,329
H26	168,864	124,455	20,092	14,976	5,141	4,200
H27	167,733	123,642	19,998	15,063	4,977	4,053
H28	166,705	122,863	19,934	15,089	4,875	3,944
H29	165,573	121,837	19,974	15,135	4,798	3,829
H30	164,777	121,282	19,883	15,257	4,664	3,691
R1	163,644	120,477	19,794	15,251	4,572	3,550
R2	162,244	119,473	19,691	15,200	4,448	3,432
R3	160,949	118,662	19,524	15,087	4,351	3,325
R4	159,423	117,691	19,360	14,920	4,255	3,197

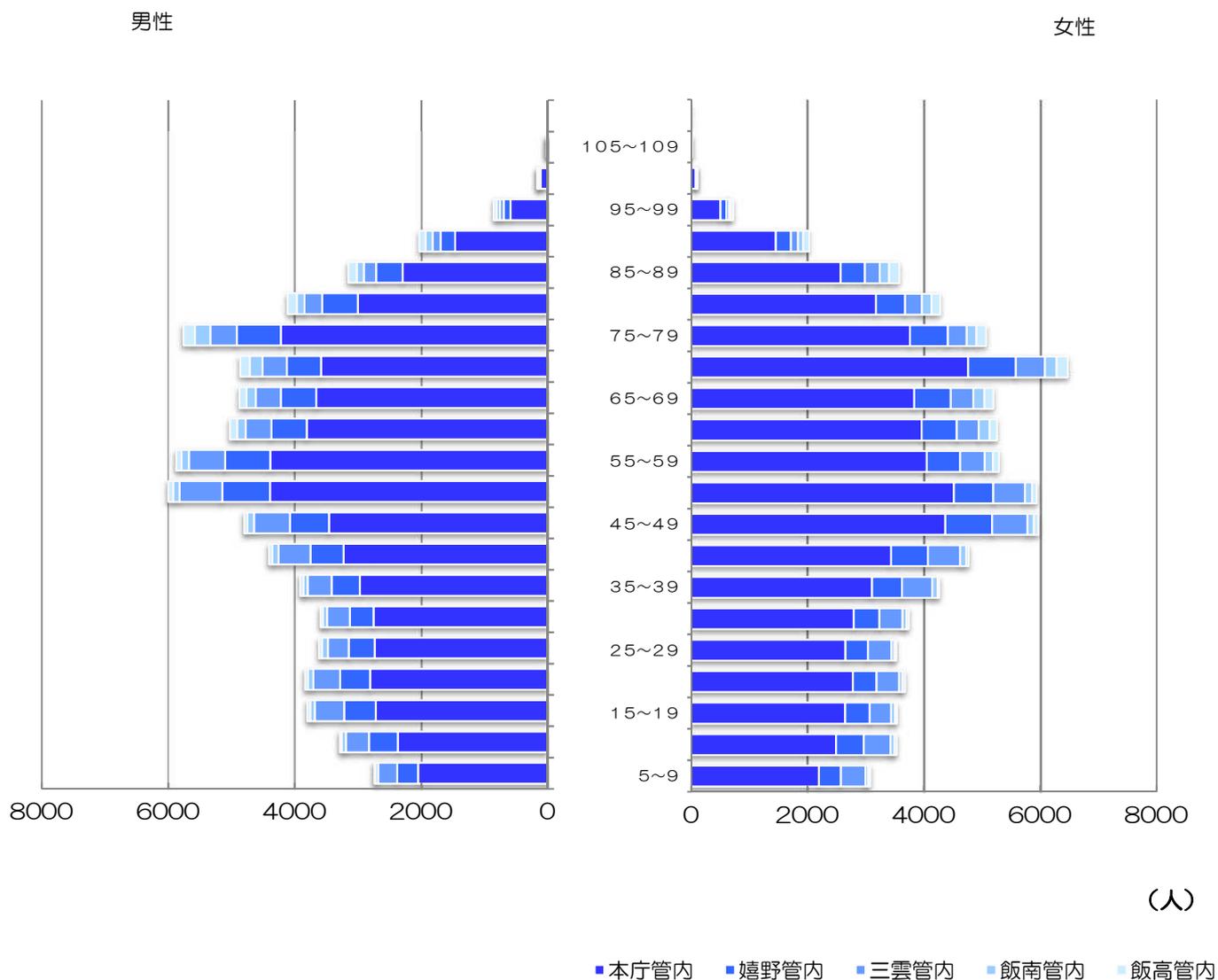
※住民基本台帳（10月1日）による。

ただしH17年は、国勢調査結果による。

(2) 年齢別人口

令和4年10月1日現在の松阪市の年齢別人口をみると、第1次と第2次ベビーブーム期にあたる70～74歳と45～49歳区分の人口が多い。近年は、昭和46～49年の第2次ベビーブーム期をピークとして出生数が年々減少してきている。

図2. 人口ピラミット



(3) 年齢3区分別人口

令和4年10月1日現在の松阪市の年少人口（0～14歳）は19,090人、生産年齢人口（15～64歳）は91,914人、老年人口（65歳以上）は48,419人であった。高齢化率（65歳以上の高齢者が人口に占める割合）は30.3%であった。

表2. 年齢3区分別人口

	総数（人）	年少人口		生産年齢人口		老年人口	
		（人）	（%）	（人）	（%）	（人）	（%）
松阪市	159,423	19,090	11.9	91,914	57.6	48,419	30.3
本庁管内	117,691	13,743	11.6	68,529	58.2	35,419	30.0
嬉野管内	19,360	2,484	12.8	10,894	56.2	5,982	30.8
三雲管内	14,920	2,328	15.6	9,196	61.6	3,396	22.7
飯南管内	4,255	352	8.2	2,019	47.4	1,884	44.2
飯高管内	3,197	183	5.7	1,276	39.9	1,738	54.3

図3. 年齢3区分別人口割合の推移

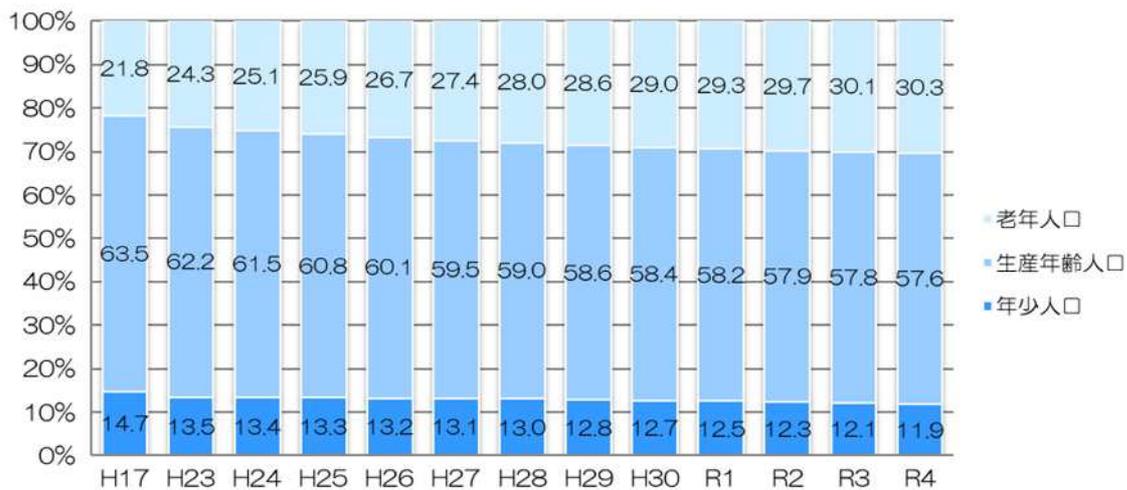
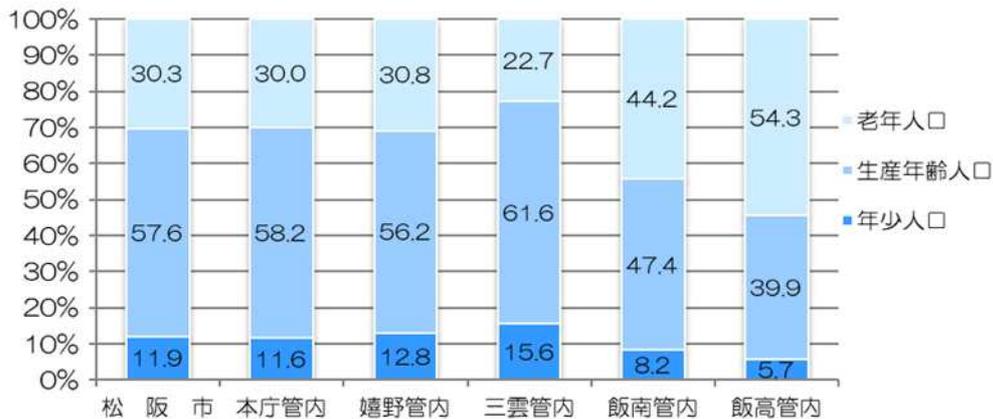


図4. 管内別の年齢3区分別人口割合



(4) 世帯数

令和4年10月1日現在の松阪市の世帯総数74,423世帯、1世帯あたり平均世帯人員は2.14人である。令和3年10月から令和4年9月までの1年間で、世帯総数は120世帯増加した。

表3. 人口と世帯数、1世帯あたり人員の推移

	H17	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
人口	168,973	170,333	169,860	169,560	168,864	167,733	166,705	165,573	164,777	163,644	162,244	160,949	159,423
世帯数	64,147	69,792	70,407	71,237	71,892	72,218	72,456	72,851	73,360	73,783	74,037	74,303	74,423
1世帯人員	2.63	2.44	2.41	2.38	2.35	2.32	2.30	2.27	2.25	2.22	2.19	2.17	2.14

図5. 人口と世帯数、1世帯あたり人員の推移

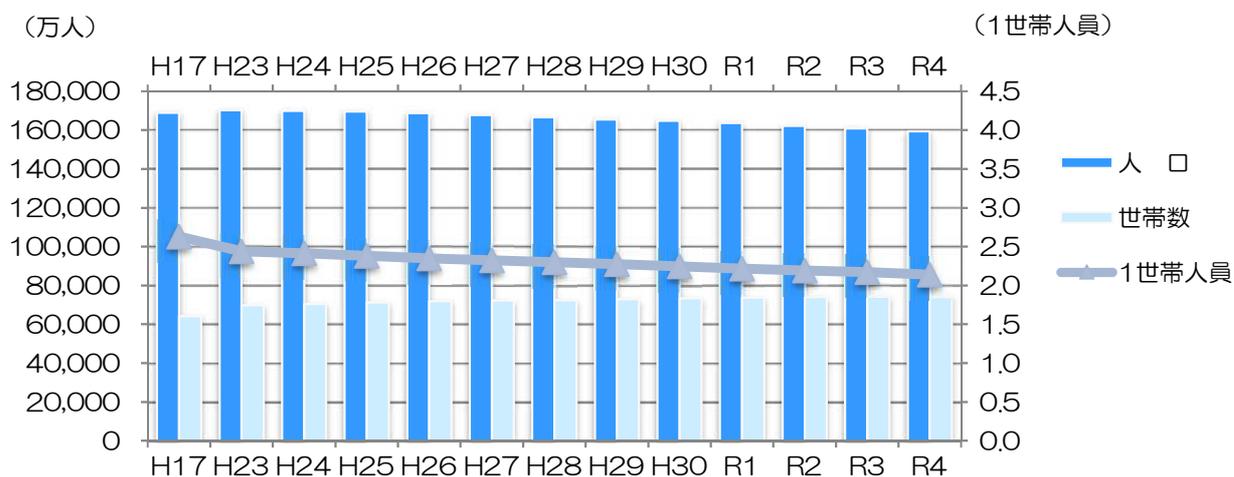


表4. 管内別の人口と世帯数、1世帯あたり人員一覧

	総数(人)	男性(人)	女性(人)	世帯数(件)	1世帯あたりの人員(人)
松阪市	159,423	76,751	82,672	74,423	2.14
本庁管内	117,691	56,649	61,042	55,646	2.11
嬉野管内	19,360	9,309	10,051	8,650	2.24
三雲管内	14,920	7,216	7,704	6,475	2.30
飯南管内	4,255	2,067	2,188	1,959	2.17
飯高管内	3,197	1,510	1,687	1,693	1.89

2. 人口動態（令和3年1月1日～12月31日）

※率の算出：分母に用いた人口は、総務省統計局「令和3年10月1日現在推計人口」の三重県内の日本人人口（松阪市総数 159,423 人、男 76,751 人、女 82,672 人）を用いている。

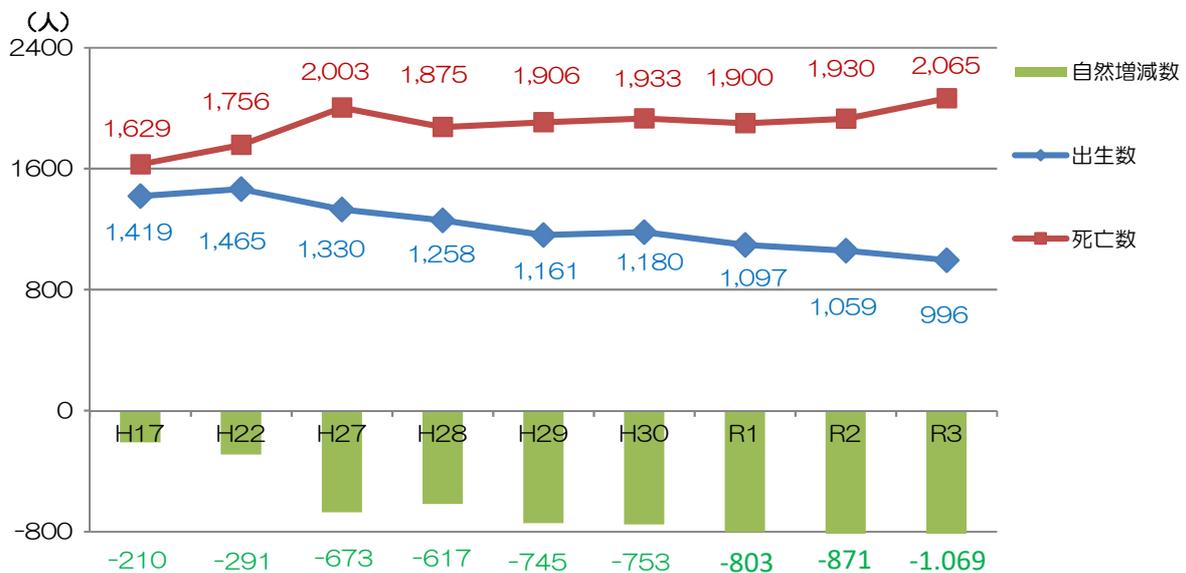
1) 人口動態の概況

令和3年の一年間の出生数は996人、死亡数は2,065人であり、自然増減数はマイナス1,069人であった。平成17年以降、死亡率が出生率を上回り、自然増減数はマイナスである。

表5. 人口動態一覧

	松阪市					全国	三重県
	実数（人）			率（％）		率（％）	
	R3	R2	対前年増減	R3	R2	R3	
出生	996	1,059	△ 63	6.3	6.7	6.6	6.4
死亡	2,065	1,930	135	13.1	12.1	11.7	12.7
乳児死亡	1	0	1	1.0	0.0	1.7	1.6
新生児死亡	1	0	1	1.0	0.0	0.8	0.9
自然増減	△ 1,069	△ 871	△ 198	△ 6.8	△ 5.5	△ 5.1	△ 6.3
合計特殊出生率	-	-	-	1.35	1.39	1.30	1.43
死産	17	29	△ 12	16.8	26.7	19.7	19.3
婚姻	571	609	△ 38	3.6	3.8	4.1	4.0
離婚	235	266	△ 31	1.5	1.7	1.5	1.5

図6. 出生数と死亡数の推移



2) 出生

(1) 出生数・出生率

令和3年の出生数は、996人（男児494人、女児502人）で、前年の出生数1,059人より63人減少し、出生率（人口千対）は6.3。

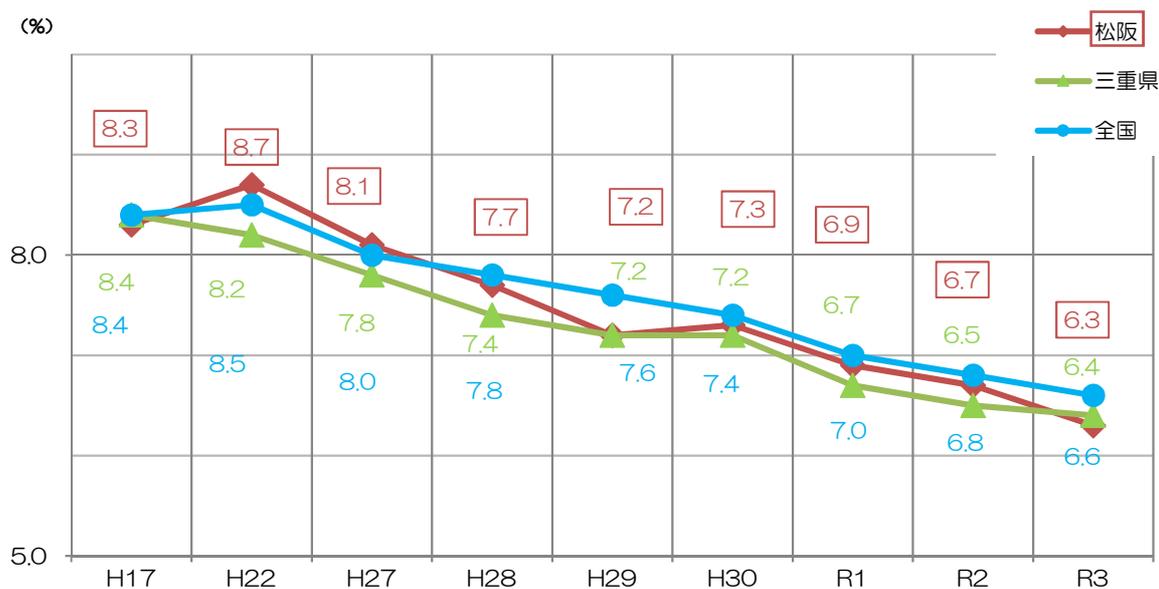
表6. 出生数と出生率

総数	出生数		出生率 (%)
	男児	女児	
996	494	502	6.3

(2) 出生率の推移

松阪市の出生率は、近年、全国・三重県と同様に減少傾向である。

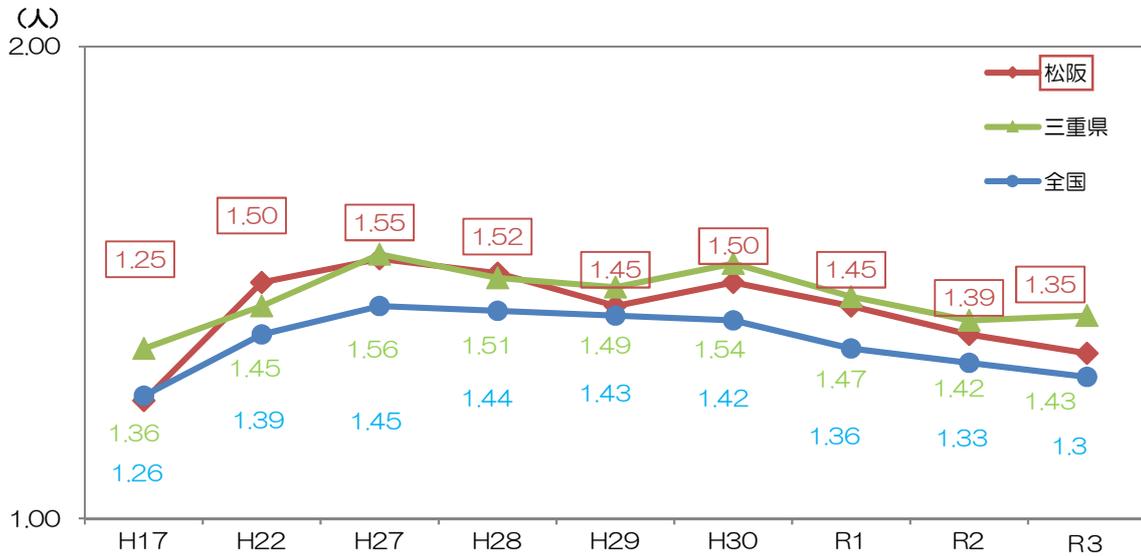
図7. 出生率の推移



(3) 合計特殊出生率

令和3年の合計特殊出生率は、1.35で前年の1.39を下回った。

図8. 合計特殊出生率の推移



(4) 母親の出産年齢

令和3年の母親の出産年齢別の割合は、30歳～34歳が32.3%で最も多かった。

図9-①. 母親の出産年齢

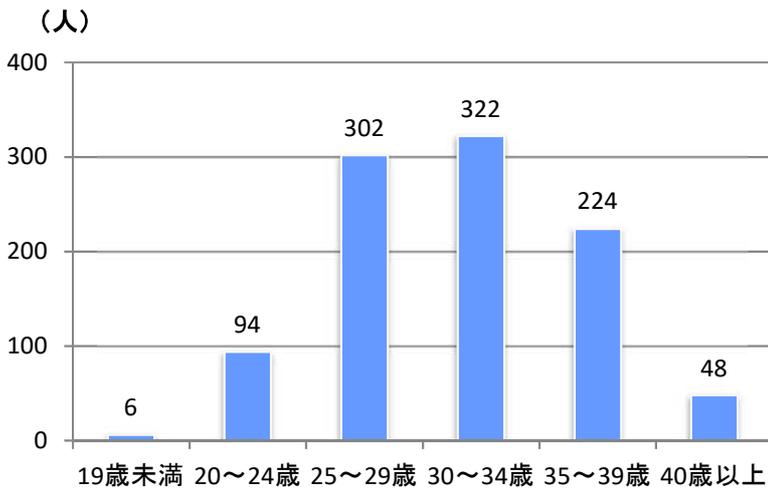
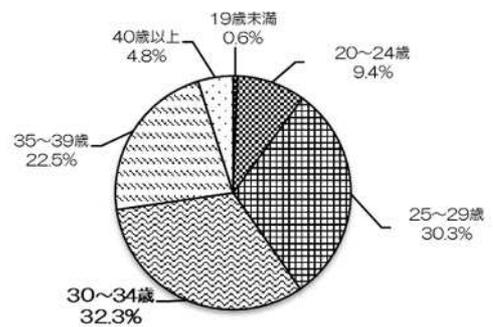


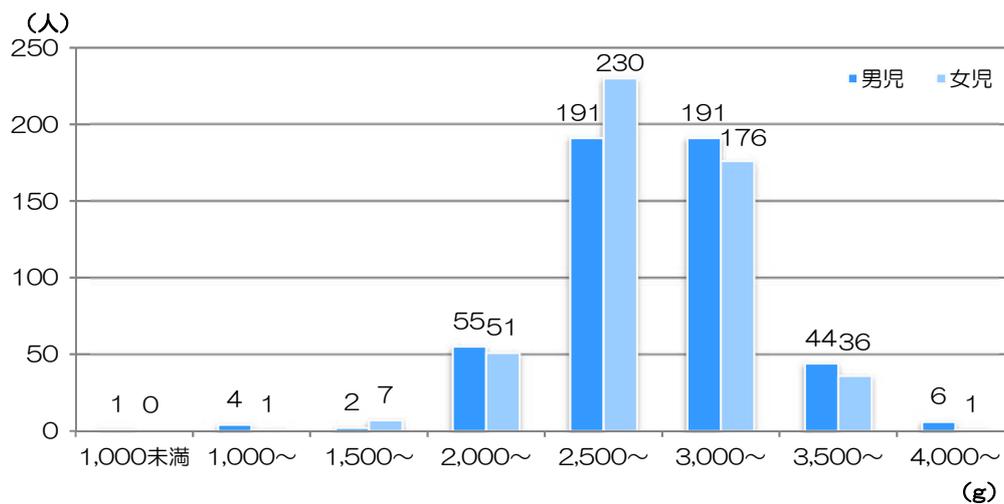
図9-②. 母親の出産年齢の割合



(5) 出生体重

令和3年の出生数996人（男児494人、女児502人）のうち、2,500g未満の低出生体重児は121人で、割合は12.1%であった。また、1,500g未満の極低出生体重児は6人（0.6%）であり、1,000g未満の超低出生体重児は、1人（0.1%）であった。

図 10. 出生体重別人数



3) 死 亡

(1) 死亡数・死亡率

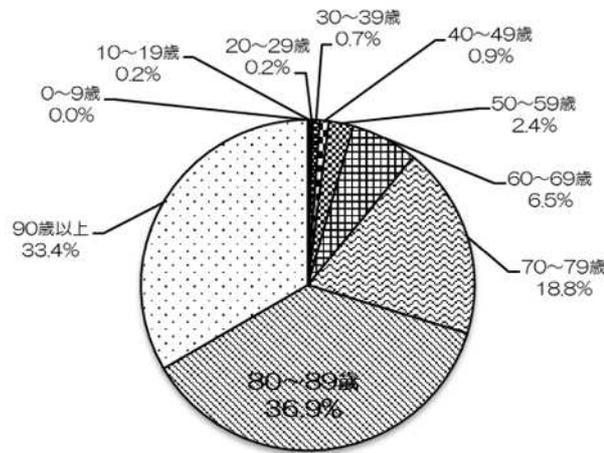
令和3年の一年間の死亡数は2,065人で、前年の死亡数1,930人より135人増加した。うち男性1,061人、女性1,004人であった。人口千人に対する粗死亡率（以下、死亡率）は13.1で、前年の12.1を上回った。

年代別の死亡数をみると、80～89歳が761人（36.9%）と最も多かった。

表7. 死亡数・率と65歳以上の死亡状況

死亡数			死亡率 (%)	65歳以上（再掲）		75歳以上（再掲）	
総数	男	女		実数（人）	率（%）	実数（人）	率（%）
2,065	1,061	1,004	13.1	1,912	92.6	1,666	80.7

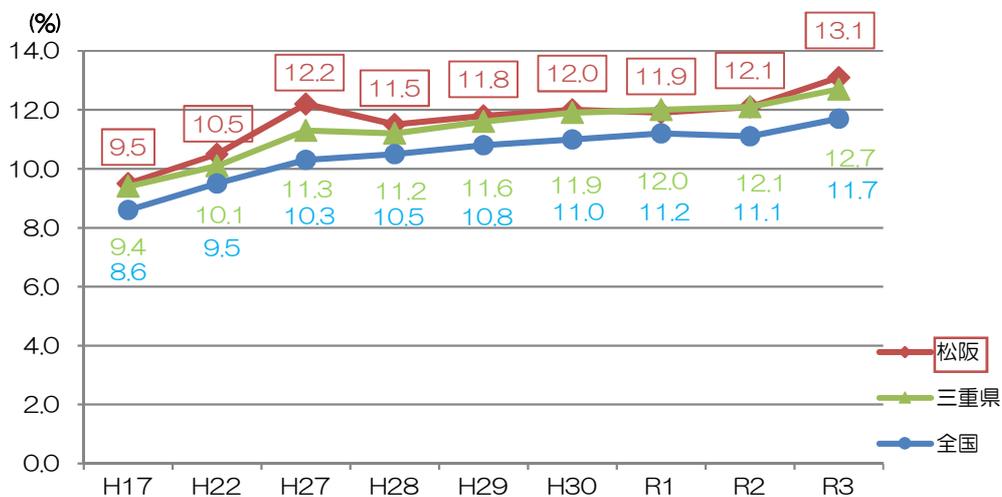
図11. 年齢別死亡人数の割合



(2) 死亡率の推移

人口の高齢化の影響により、上昇傾向にある。

図12. 死亡率の推移



(3) 死因別死亡数・年齢調整死亡率

令和3年の主要死因は、悪性新生物（22.9%）、心疾患（15.5%）、老衰（13.7%）、その他呼吸器系疾患（6.2%）の順であった。令和2年の死因別死亡数と比較すると第1～4位までの順位に変化はなく、肺炎と脳血管疾患の順位が入れ替わった。また、全国的な傾向と同様に第9位にアルツハイマー病、第10位に血管性及び詳細不明の認知症が加わった。

表8-①. 死因別死亡数と年齢調整死亡率（人口10万対）

順位	全体		
	死因	人数	年齢調整死亡率
1	悪性新生物<腫瘍>	473	247.40
2	心疾患(高血圧性を除く)	320	154.84
3	老衰	282	121.10
4	その他呼吸器系の疾患	129	63.29
5	肺炎	117	56.39
6	脳血管疾患	110	56.13
7	腎不全	61	30.10
8	不慮の事故	47	23.53
9	アルツハイマー病	42	19.45
10	血管性及び詳細不明の認知症	39	17.83
-	その他	445	
	総計	2,065	1020.24

図13. 死亡総数に占める割合

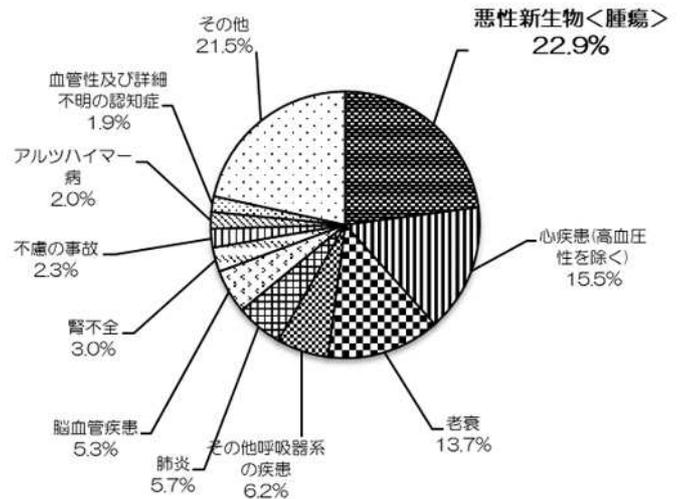


表8-②. 男女別の死因別死亡者数と年齢調整死亡率（人口10万対）

順位	男性			順位	女性		
	死因	人数	年齢調整死亡率		死因	人数	年齢調整死亡率
1	悪性新生物<腫瘍>	280	361.67	1	老衰	200	120.90
2	心疾患(高血圧性を除く)	167	224.85	2	悪性新生物<腫瘍>	193	172.23
3	その他呼吸器系の疾患	82	106.86	3	心疾患(高血圧性を除く)	153	110.92
3	老衰	82	126.11	4	脳血管疾患	53	42.92
4	肺炎	73	98.14	5	その他呼吸器系の疾患	47	35.04
5	脳血管疾患	57	76.83	6	肺炎	44	30.33
6	腎不全	35	51.05	7	不慮の事故	26	21.17
7	不慮の事故	21	28.39	8	腎不全	26	18.69
8	アルツハイマー病	17	24.62	9	血管性及び詳細不明の認知症	25	16.55
8	大動脈瘤及び解離	17	22.90	10	アルツハイマー病	25	16.72
8	自殺	17	22.14	-	その他	212	
-	その他	213			総計	1004	757.6
	総計	1061	1426.23				

(4) 年齢調整死亡率の比較

松阪市の年齢調整死亡率は、三重県と比較すると心疾患、その他呼吸器系の疾患、肺炎、腎不全、アルツハイマー、血管性及び詳細不明の認知症が多かった。

表9. 年齢調整死亡率の比較

死因順位		松阪市				三重県		
		死亡数	年齢調整死亡率			年齢調整死亡率		
			総数	男女別		総数	男女別	
				男	女		男	女
1	悪性新生物<腫瘍>	473	247.40	361.67	172.23	267.69	381.06	190.01
2	心疾患	320	154.84	224.85	110.92	144.50	198.34	106.30
3	老衰	282	121.10	126.11	120.90	128.87	125.59	127.83
4	その他の呼吸器系の疾患	129	63.29	106.86	35.04	56.27	98.16	31.84
5	肺炎	117	56.39	98.14	30.33	49.21	82.73	29.73
6	脳血管疾患	110	56.13	76.83	42.92	72.23	91.16	57.66
7	腎不全	61	30.10	51.05	18.69	22.31	33.11	16.25
8	不慮の事故	47	23.53	28.39	21.17	24.98	36.66	17.24
9	アルツハイマー	42	19.45	24.62	16.72	12.49	12.07	12.37
10	血管性及び詳細不明の認知症	39	17.83	20.55	16.55	15.41	16.14	14.72
	その他	445						
総計		2065	790.06	1119.07	585.47	793.96	1075.02	603.95

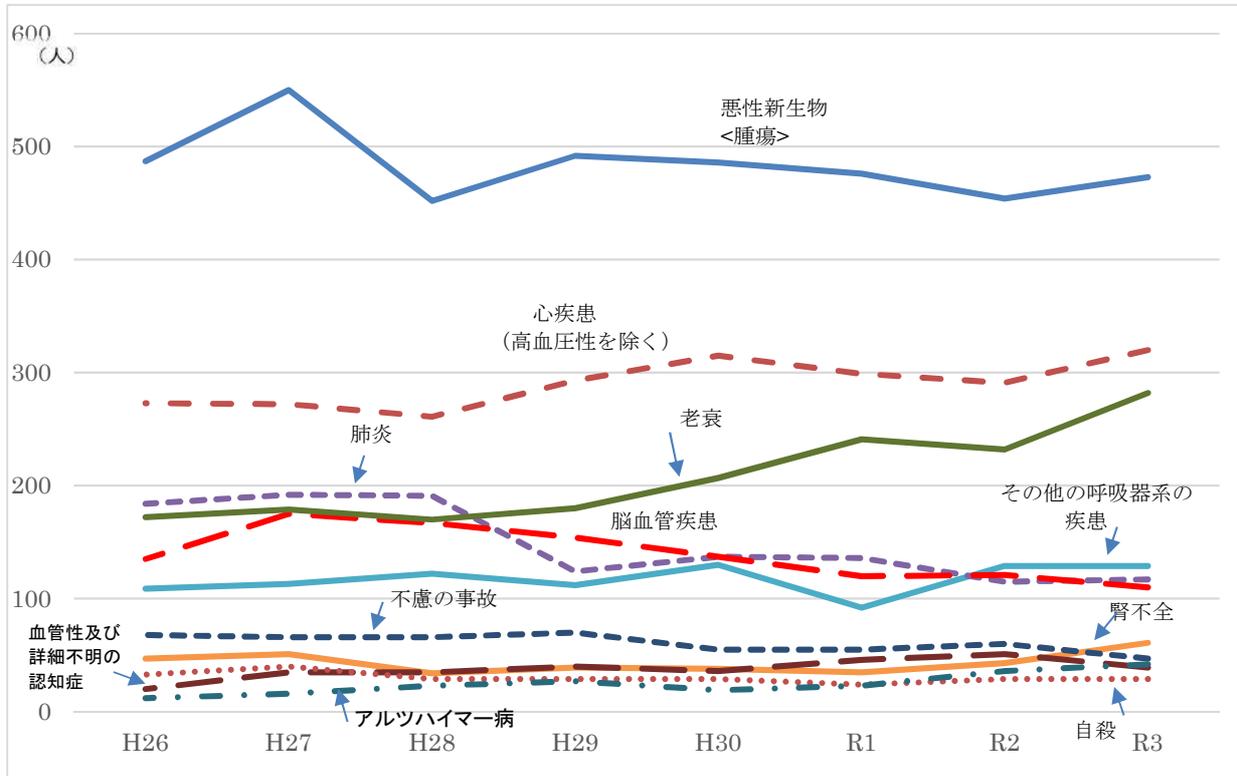
※「心疾患」は、「心疾患（高血圧性を除く）」である

※その他の呼吸器系の疾患は誤嚥性肺炎、間質性肺炎、その他呼吸器の疾患を含む

(5) 死因別死亡数の推移

松阪市の死因別死亡の推移をみると、悪性新生物と心疾患の順位の変化はない。
全国的な傾向と同様に老衰の順位が高くなり、脳血管疾患の順位が低下している。

図 14. 死因別死亡数の推移



- 悪性新生物<腫瘍>
- - 心疾患(高血圧性を除く)
- その他の呼吸器系の疾患
- - 肺炎
- 脳血管疾患
- 腎不全
- - 不慮の事故
- 血管性及び詳細不明の認知症
- 老衰
- 自殺
- 阿尔ツハイマー病

(6) 死因別死亡

表 10. 死因別死亡一覽(人)(R3)

病 名	死因簡単分類コード	死亡数	男性	女性
腸管感染症	01100	6	4	2
結核	01200	1	-	1
敗血症	01300	10	5	5
ウイルス性肝炎	01400	2	1	1
ヒト免疫不全ウイルス(HIV)病	01500	-	-	-
悪性新生物<腫瘍>	02100	473	280	193
その他の新生物<腫瘍>	02121	18	10	8
貧血	03100	5	1	4
糖尿病	04100	16	6	10
血管性及び詳細不明の認知症	05100	39	14	25
髄膜炎	06100	1	1	-
脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	06200	2	1	1
パーキンソン病	06300	16	9	7
アルツハイマー病	06400	42	17	25
眼及び付属器の疾患	07000	-	-	-
耳及び乳様突起の疾患	08000	-	-	-
高血圧性疾患	09100	11	3	8
心疾患(高血圧性を除く)	09200	320	167	153
脳血管疾患	09300	110	57	53
大動脈瘤及び解離	09400	28	17	11
インフルエンザ	10100	-	-	-
肺炎	10200	117	73	44
急性気管支炎	10300	1	1	-
慢性閉塞性肺疾患	10400	20	16	4
喘息	10500	1	-	1
その他の呼吸器系の疾患	10600	129	82	47
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	11100	2	1	1
ヘルニア及び腸閉塞	11200	6	3	3
肝疾患	11300	17	11	6
皮膚及び皮下組織の疾患	12000	2	-	2
筋骨格系及び結合組織の疾患	13000	9	2	7
糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	14100	6	1	5
腎不全	14200	61	35	26
妊娠、分娩及び産じょく	15000	-	-	-
周産期に発生した病態	16000	-	-	-
先天奇形、変形及び染色体異常	17000	-	-	-
老衰	18100	282	82	200
乳幼児突然死症候群	18200	-	-	-
不慮の事故	20100	47	21	26
自殺	20200	29	17	12
他殺	20300	-	-	-
その他の特殊目的用コード(新型コロナウイルス感染症)	22200	10	7	3

(7) 悪性新生物の部位別死亡

表 11-①. 悪性新生物の部位別死亡

全体			
順位	部位	人数(人)	割合(%)
1	気管, 気管支及び肺	105	22.2
2	結腸	53	11.2
3	膵	51	10.8
4	胃	43	9.1
5	肝及び肝内胆管	32	6.8
6	前立腺	20	4.2
7	胆のう及びその他の胆道	19	4.0
8	乳房	19	4.0
9	悪性リンパ腫	19	4.0
9	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	19	4.0
9	胆のう及びその他の胆道の悪性新生物<腫瘍>	19	4.0
-	その他	74	15.6
総数		473	100.0

表 11-②. 男女別の悪性新生物の部位別死亡

男性				女性			
順位	部位	人数(人)	割合(%)	順位	部位	人数(人)	割合(%)
1	気管, 気管支及び肺	77	27.5	1	気管, 気管支及び肺	28	14.5
2	結腸	30	10.7	2	膵	24	12.4
3	膵	27	9.6	3	結腸	23	11.9
4	胃	24	8.6	4	胃	19	9.8
5	肝及び肝内胆管	22	7.9	4	乳房	19	9.8
6	前立腺	20	7.1	5	肝及び肝内胆管	10	5.2
7	直腸S状結腸移行部及び直腸	13	4.6	6	卵巣の悪性新生物<腫瘍>	9	4.7
8	胆のう及びその他の胆道	12	4.3	7	悪性リンパ腫	8	4.1
8	膀胱	12	4.3	8	胆のう及びその他の胆道	7	3.6
9	悪性リンパ腫	11	3.9	9	直腸S状結腸移行部及び直腸	6	3.1
-	その他	32	11.4	-	その他	68	35.2
総数		280	100.0	総数		193	100.0

(8) 不慮の事故の内訳と比較

松阪市では、三重県と比較すると転倒・転落、交通事故、煙・火及び火災への曝露、有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露による死亡割合が多くなっている。

表 12. 不慮の事故の内訳と比較

内 訳	松阪市		三重県		全国	
	実人数 (人)	割合 (%)	実人数 (人)	割合 (%)	実人数 (人)	割合 (%)
転倒・転落	15	31.9	152	28.8	10,202	26.6
交通事故	8	17.0	71	13.5	3,536	9.2
不慮の溺死及び溺水	5	10.6	62	11.8	7,184	18.7
不慮の窒息	10	21.3	128	24.3	7,989	20.8
煙・火及び火災への曝露	1	2.1	5	0.9	930	2.4
有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露	1	2.1	2	0.4	522	1.4
その他の不慮の事故	7	14.9	107	20.3	7,992	20.8
総数	47	100.0	527	71.2	38,355	100.0

(9) 「新型コロナウイルス感染症」による年齢調整死亡率の比較

今年度より、令和2年から死因欄に「その他の特殊目的用コード」（新型コロナウイルス感染症等）*が追加されたデータの集積が可能となった。令和3年度の新型コロナウイルス感染症による年齢調整死亡率は、松阪市 5.14%、三重県 7.81%であった。

表 13. 「新型コロナウイルス感染症」による年齢調整死亡率の比較

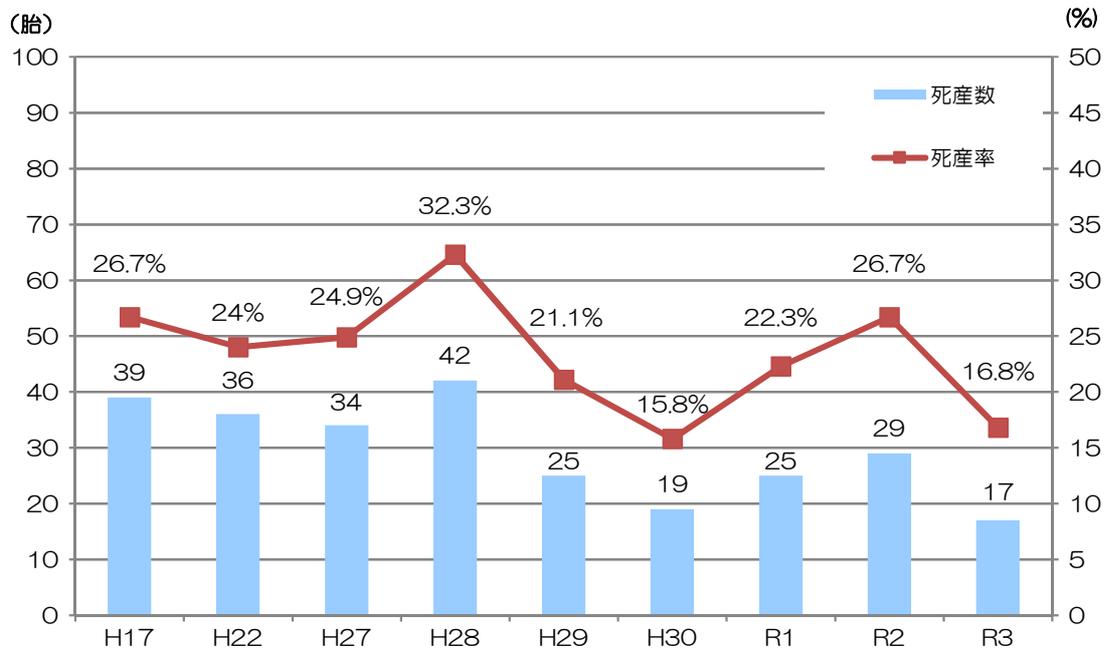
年度	松阪市						三重県					
	死亡数		男性		女性		死亡数		男性		女性	
	実人数 (人)	年齢調整死亡率 (%)										
R2	1	0.54	-		1	1.02	17	0.82	10	1.17	7	0.55
R3	10	5.14	7	9.12	3	2.67	158	7.81	102	12.51	56	4.55

*三重県ホームページ 「令和3年三重県の人口動態」より引用（令和5年6月2日アクセス）

4) 死産

妊娠満 12 週（妊娠第 4 月）以後の死児の出産を死産といい、令和 3 年に届出のあった死産数は 17 胎、死産率は 16.8%であった。

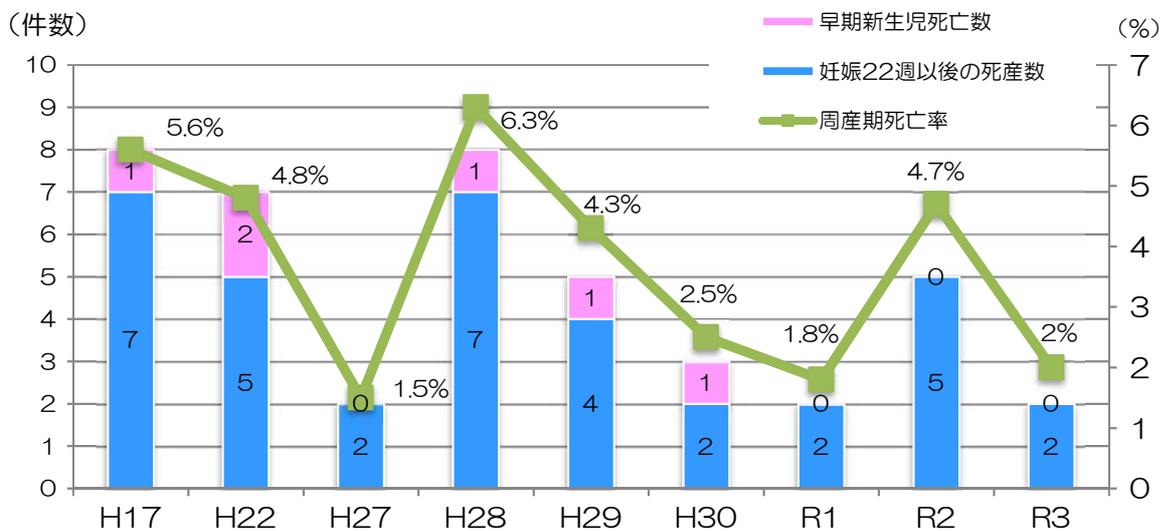
図 15. 死産の推移



5) 周産期死亡

令和 3 年の周産期死亡数は、2 件（妊娠満 22 週以後の死産 2 胎、生後 1 週未満の早期新生児死亡 0 人）、周産期死亡率は、2.0%であった。

図 16. 周産期死亡の推移



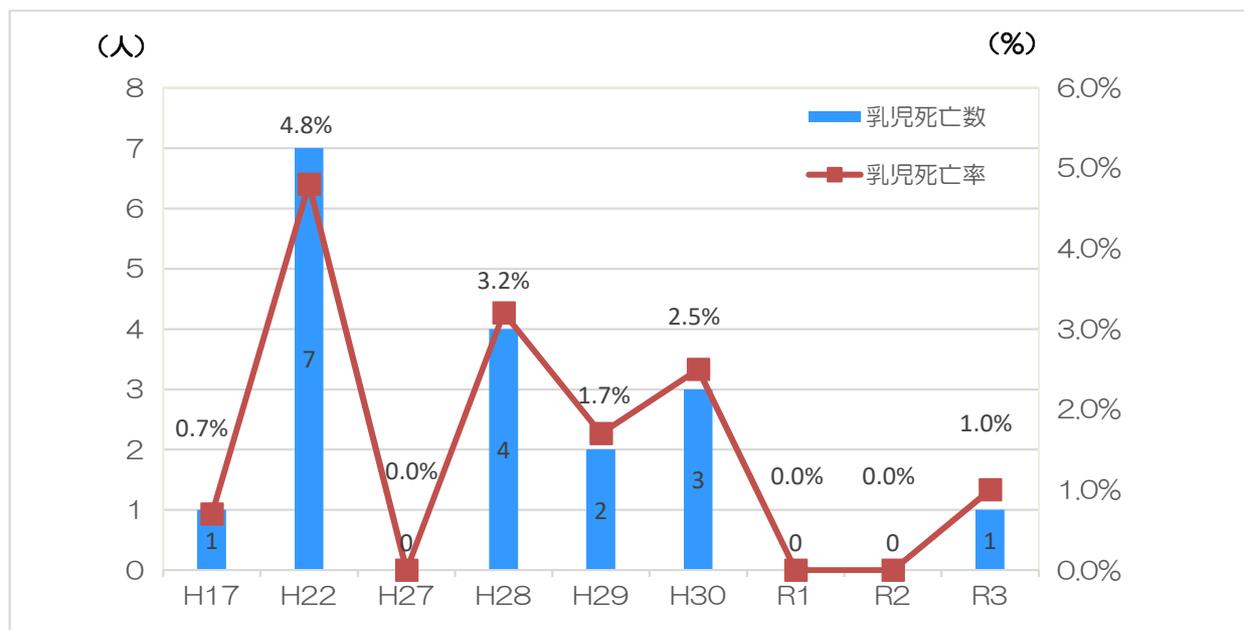
6) 乳児死亡

令和3年の乳児死亡（生後1年未満の死亡）数は1人であった。

表 14. 乳児死亡の推移（人）

乳児死亡の内訳	H17	H22	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
乳児死亡数	1	7	0	4	2	3	0	0	1
新生児死亡数（再掲）	0	2	0	2	1	1	0	0	1
早期新生児死亡数（再掲）	1	2	0	1	1	1	0	0	0

図 17. 乳児死亡と乳児死亡率の推移



7) 婚姻と離婚

令和3年の婚姻数は571組、婚姻率は3.6であり、離婚数235組、離婚率は1.5であった。

表 15. 婚姻数・離婚数の推移（組）

	H17	H22	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
婚姻届	861	867	808	741	728	652	701	609	571
離婚届	346	351	298	303	270	323	266	266	235

図 18. 婚姻率の推移

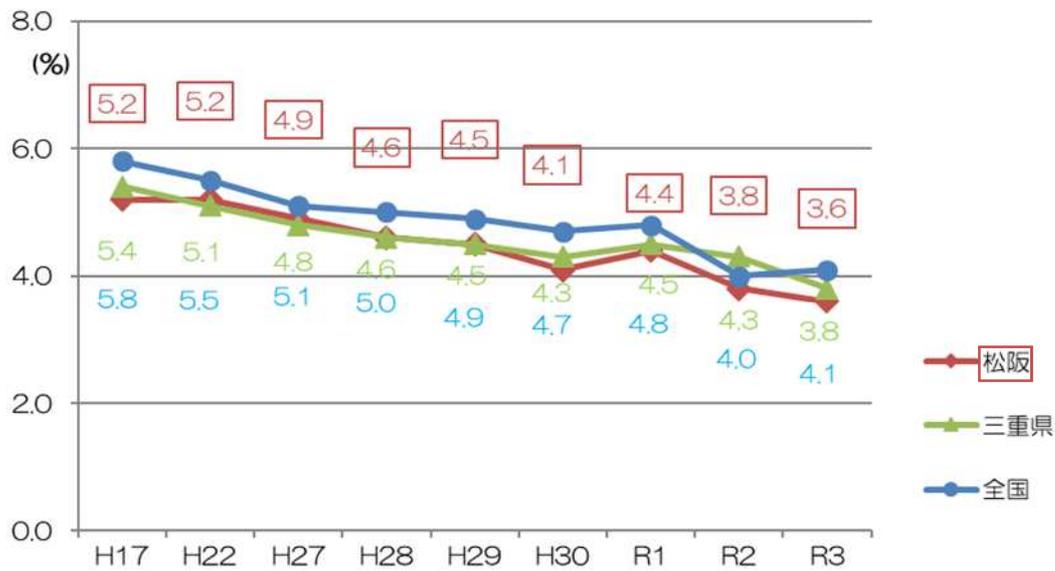
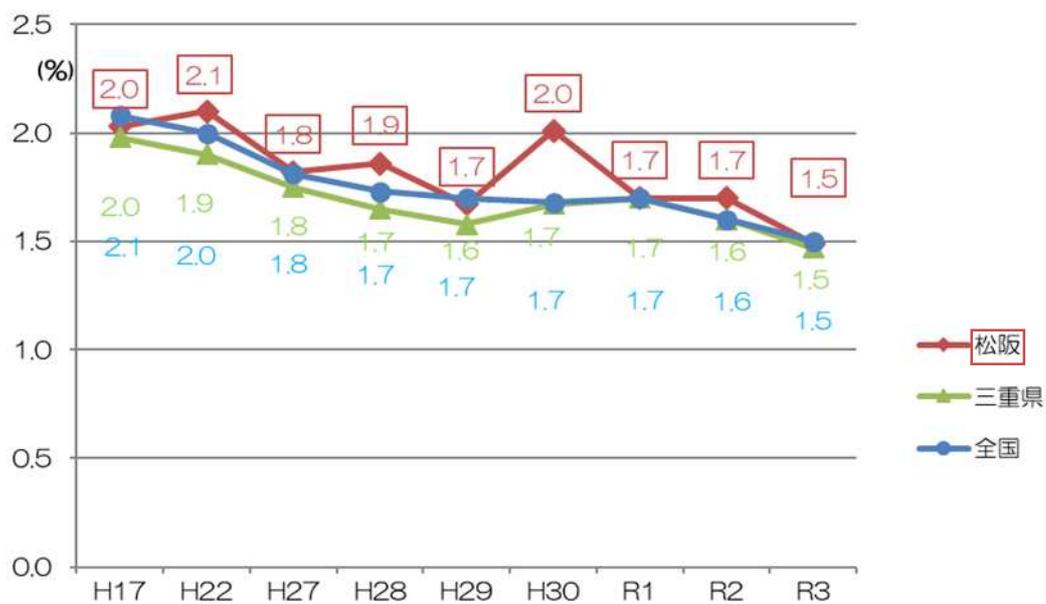


図 19. 離婚率の推移



【参考資料】地区別人口一覽

管内	地区	住民基本台帳による 人口（令和4年10月1日現在）			世帯数	年齢3区分別人口（人）			年齢3区分別構成割合（%）			高齢化率（%）
		計	男	女		年少人口	生産年齢人口	老年人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口	
本庁管内	第一	2,704	1,223	1,481	1,337	252	1,399	1,053	9.4	52.3	39.3	39.3
	第二	2,658	1,175	1,483	1,495	187	1,353	1,118	7.1	51.4	42.5	42.5
	第三	5,708	2,697	3,011	2,712	733	3,291	1,684	13.0	58.2	29.8	29.8
	第四	11,202	5,507	5,695	5,516	1,505	7,378	2,319	13.6	66.5	20.9	20.9
	幸	4,301	1,975	2,326	2,036	503	2,246	1,552	11.8	52.7	36.4	36.4
	東	3,203	1,532	1,671	1,698	421	1,837	945	13.3	57.9	29.8	29.8
	神戸	11,134	5,447	5,687	5,411	1,577	6,759	2,798	14.3	61.3	25.4	25.4
	松江	4,944	2,378	2,566	2,354	551	2,794	1,599	11.3	57.1	32.7	32.7
	朝見	1,914	932	982	857	206	1,005	703	10.9	53.0	37.1	37.1
	伊勢寺	3,526	1,679	1,847	1,547	371	1,768	1,387	10.6	50.6	39.7	39.7
	機殿	1,175	576	599	493	105	573	497	9.0	49.3	42.7	42.7
	花岡	24,686	11,838	12,848	11,822	3,168	14,734	6,784	13.0	60.3	27.8	27.8
	松尾	5,171	2,595	2,576	2,128	589	3,254	1,328	11.5	63.6	25.9	25.9
	阿坂	1,823	880	943	764	159	883	781	8.8	48.9	43.3	43.3
	港	4,228	2,089	2,139	1,942	430	2,436	1,362	10.3	58.2	32.5	32.5
	松ヶ崎	1,379	670	709	667	80	736	563	5.9	53.9	41.2	41.2
	西黒部	1,961	937	1,024	836	162	1,010	789	8.3	52.0	40.6	40.6
	東黒部	1,118	509	609	498	94	546	478	8.5	49.3	43.2	43.2
	宇気郷	126	58	68	86	2	42	82	1.6	33.7	65.7	65.7
	大石	1,403	664	739	703	112	687	604	8.1	49.5	43.5	43.5
	茅広江	642	317	325	272	65	313	264	10.2	49.2	41.5	41.5
射和	3,292	1,569	1,723	1,476	378	1,834	1,080	11.6	56.3	33.1	33.1	
漣代	1,873	894	979	823	159	997	717	8.6	53.8	38.7	38.7	
大河内	1,855	885	970	819	173	897	785	9.4	48.8	42.7	42.7	
櫛田	3,809	1,849	1,960	1,657	422	2,062	1,325	11.2	54.7	35.1	35.1	
徳和	11,856	5,774	6,082	5,697	1,339	7,695	2,822	11.4	65.6	24.0	24.0	
計	117,691	56,649	61,042	55,646	13,743	68,529	35,419	11.8	58.8	30.4	30.4	
埴野管内	宇気郷	113	53	60	70	7	29	77	6.3	25.9	68.8	68.8
	中郷	899	423	476	441	67	408	424	7.5	45.8	47.6	47.6
	豊地	3,160	1,553	1,607	1,387	306	1,676	1,178	9.8	53.6	37.7	37.7
	中川	9,880	4,736	5,144	4,417	1,478	6,051	2,351	15.1	61.9	24.0	24.0
	豊田	2,619	1,234	1,385	1,102	347	1,361	911	13.4	52.5	35.1	35.1
	中原	2,689	1,310	1,379	1,233	279	1,369	1,041	10.5	51.4	39.1	39.1
計	19,360	9,309	10,051	8,650	2,484	10,894	5,982	13.0	56.8	31.2	31.2	
三雲管内	米ノ庄	2,693	1,257	1,436	1,181	436	1,504	753	16.4	56.4	28.2	28.2
	天白	6,483	3,135	3,348	2,769	1,079	4,214	1,190	16.8	65.7	18.5	18.5
	鶴	2,014	973	1,041	884	226	1,181	607	11.3	59.2	30.4	30.4
	小野江	3,730	1,851	1,879	1,641	587	2,297	846	15.9	62.2	22.9	22.9
計	14,920	7,216	7,704	6,475	2,328	9,196	3,396	15.8	62.3	23.0	23.0	
飯南管内	深野	880	442	438	382	77	408	395	8.8	46.8	45.3	45.3
	横野	450	211	239	208	38	199	213	8.5	44.7	47.8	47.8
	下仁柿	201	104	97	109	7	93	101	3.5	46.7	50.8	50.8
	上仁柿	221	114	107	111	8	95	118	3.7	43.4	53.9	53.9
	有間野	307	139	168	166	23	142	142	7.6	46.7	46.7	46.7
	向瀬見	428	216	212	221	26	212	190	6.1	50.0	44.8	44.8
	計	4,255	2,067	2,188	1,959	352	2,019	1,884	8.4	47.9	44.7	44.7
飯高管内	宮前	1,426	674	752	673	138	643	645	9.8	45.5	45.7	45.7
	川俣	867	413	454	495	21	329	517	2.4	38.3	60.2	60.2
	森	492	237	255	271	20	196	276	4.1	40.2	56.7	56.7
	波瀬	412	186	226	254	4	108	300	1.0	26.5	73.5	73.5
計	3,197	1,510	1,687	1,693	183	1,276	1,738	5.8	40.3	54.9	54.9	
松阪市	159,423	76,751	82,672	74,423	19,090	91,914	48,419	12.1	58.2	30.7	30.7	

